

発表場所：国土交通記者会（資料配付）
国土交通省建設専門紙記者会（資料配付）
国土交通省交通運輸記者会（資料配付）
筑波研究学園都市記者会（資料配付）
発表日時：令和7年4月2日（水）14時



令和7年4月2日
国土交通省国土地理院

ミャンマーの地震(2025年3月28日)に伴う最大6mの変動を確認 一断層沿いに長さ400km以上にわたってずれ動いたことが明らかに

2025年3月28日にミャンマー連邦共和国でマグニチュード7.7の巨大地震が発生しました。国土地理院は、JAXAの地球観測衛星「だいち2号」のデータを使用して画像解析を行い、この地震に伴う大規模な地面の動きを明らかにしました。

国土地理院では、JAXAの地球観測衛星「だいち2号」(ALOS-2)のデータを使用して画像解析を行い、2025年3月28日にミャンマー連邦共和国で発生したマグニチュード7.7の地震に伴う地面の動きを明らかにしました。なお、ミャンマー連邦共和国は、インドプレートとユーラシアプレートの衝突境界に位置し、日本と同様に度々大規模な地震に見舞われています。

今回の解析で明らかになったことは次のとおりです。

- ・ Sagaing（ザガイン）断層に沿って南北400km以上にわたって地殻変動が見られます。
- ・ 断層を挟んで西側でおおむね北向き、東側でおおむね南向きの地殻変動が見られます。
この地殻変動のパターンは地震のメカニズム（右横ずれ）と整合的です。
- ・ 変動域では、断層を挟んで最大で6m程度の大きな食い違いが見られます。
これは、地震に伴い断層が6mずれたことを意味すると考えられます。

国土地理院では引き続き「だいち2号」等のデータの解析をすすめ、地震に伴う地面の動きの詳細を明らかにしていきます。

参考ホームページ

(https://www.gsi.go.jp/cais/topic20250328_Myanmar.html)

添付資料

(2025年3月28日ミャンマーの地震 だいち2号解析結果)

(問合せ先)

〒305-0811 茨城県つくば市北郷1番

国土地理院 地理地殻活動研究センター 地殻変動研究室長 宗包 浩志

TEL : 029-864-6925 (直通)



2025年3月28日ミャンマーの地震 だいち2号解析結果（速報値）

2025年3月28日15時20分（JST）（2025年3月28日6時20分（UTC））にミャンマーでM7.7（米国地質調査所：USGS）の地震が発生しました。JAXAの地球観測衛星「だいち2号」（ALOS-2）に搭載された合成開口レーダー（PALSAR-2）のデータを使用して画像の解析を行いました。得られた結果は以下のとおりです。

- ・ Sagaing 断層に沿って、南北 400km 以上にわたって地殻変動が見られます。
- ・ Sagaing 断層を挟んで西側でおおむね北向き、東側でおおむね南向きの地殻変動が見られます。地殻変動は地震のメカニズム（右横ずれ*）と整合的です。
- ・ 変動域では、Sagaing 断層を挟んで最大で 6m 程度の変動が見られます。

表：解析データ

Pair	図番号	観測日	観測時間 (UTC)	衛星進行方向	電波照射方向	観測モード	入射角	垂直基線長
Pair 1	2, 3	2025-02-16 2025-03-30	5:26 頃	南行	右	W-W (350 km)	34.9°	+266.7m

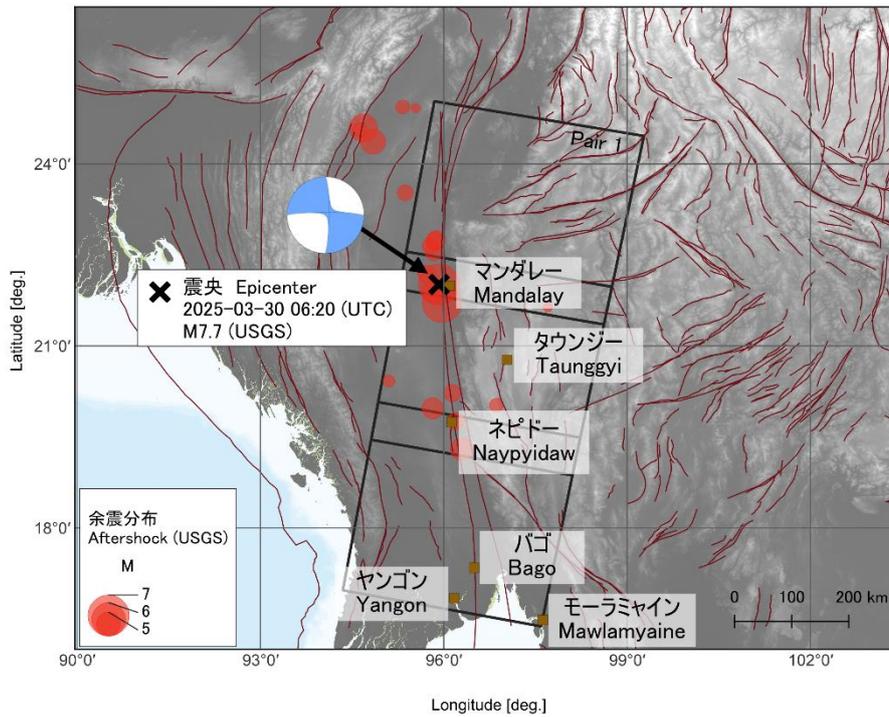


図 1. SAR 撮像領域

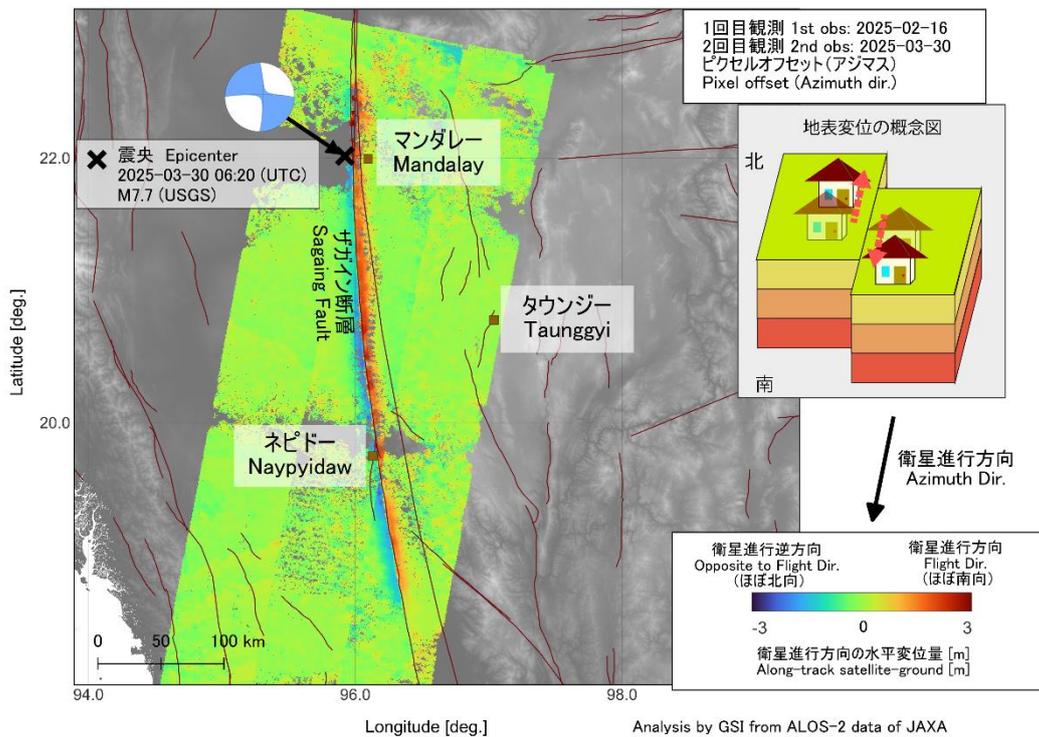


図 2. ピクセルオフセット*の結果 (Pair 1: 2025-02-16/2025-03-30、アジマス方向*)。震央は米国地質調査所ウェブサイトより。断層線は Styron et al. (2020)より。右図のイラストは右横ずれの概念図を示す。

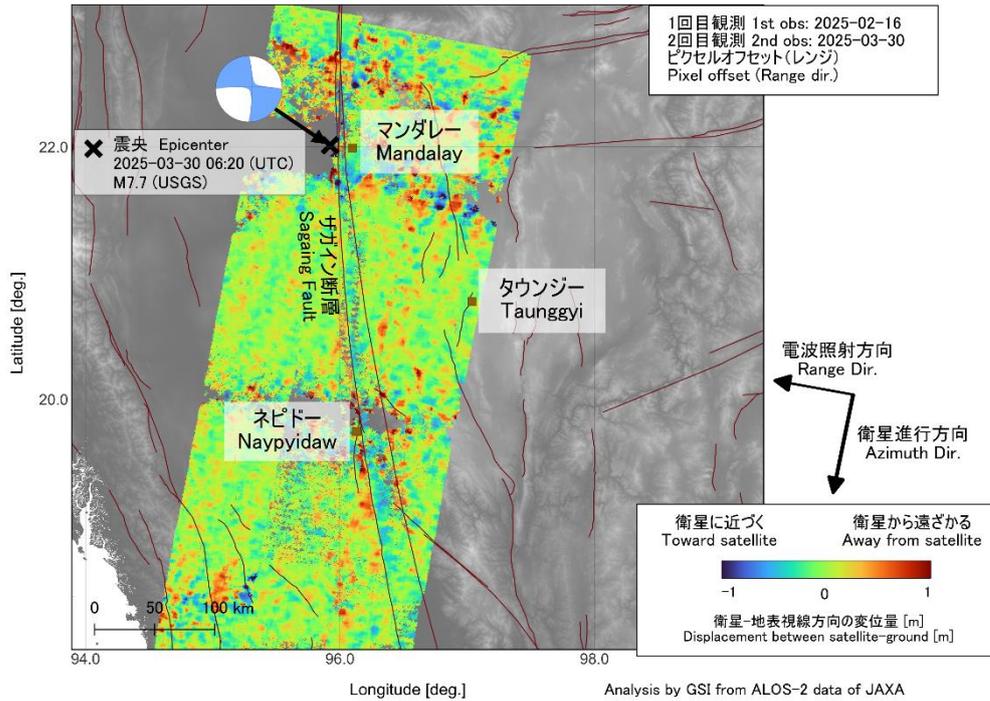


図3. ピクセルオフセットの結果 (Pair 1: 2025-02-16/2025-03-30、レンジ方向*)。震央は米国地質調査所ウェブサイトより。断層線は Styron et al. (2020)より。

地震概要

地震発生日時	2025年3月28日15時20分 (JST) 2025年3月28日6時20分 (UTC)
震源位置	22.013° N、95.922° E、深さ 10.0 km (USGS 2025年3月29日現在)
マグニチュード	M 7.7 (USGS 2025年3月29日現在)

本成果は、地震予知連絡会 SAR 解析ワーキンググループの活動を通して得られたものである。

*用語集

右横ずれ：断層に対してある一方の岩盤の上に立つとき、向かい側の岩盤が右向きにずれる動きを指す。

ピクセルオフセット：2枚の SAR 強度画像の精密な位置合わせにより、局所的な地表変位を計測する解析手法。

(参考ウェブサイト：https://www.gsi.go.jp/cais/pixel_offset.html)

アジマス方向：人工衛星が進行する方向。図 2 右の矢印が示すとおり、おおむね南北方向を指す。

レンジ方向：人工衛星が電波を照射する方向。人工衛星は電波を地面に向けて斜め下方向に照射するため、図 3 右の矢印（電波照射方向）が示すとおり、おおむね東西方向と上下方向を指す。